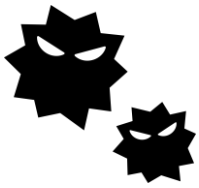
PHPに関する深刻な脆弱性について

ウェブサイトやウェブアプリケーションで使用されている
PHP(プログラミング言語)に深刻なぜい弱性があると公表されました。

このPHPのぜい弱性を悪用された場合、

不正なプログラムの設置
機密情報等の流出
ウェブサイトの改ざん



などの恐れがあります。

早急に講じるべき対応

各事業者において、

- 自社で運営しているウェブサイトや利用している業務システムがPHPを利用しているかの確認
  （ウェブサイト制作を委託、レンタルサーバーを利用の場合は提供事業者への確認）
- 修正パッチ適用の検討
  （パッチの適用については、既存のシステムへの影響を考慮のうえ、可及的速やかに実行してください）
- パッチ適用までの外部アクセスの制限、一時的なサービスの停止の検討

の対応をお願いいたします。

[参考情報]
・独立行政法人情報処理推進機構（IPA）
PHPの脆弱性対策について(CVE-2026-109618、CVE-2026-109619：PHP2shell)
https://www.ipa.go.jp/security/security-alert/2026/alert20261022.html

[本ぜい弱性の修正パッチ配布案内]
・The PHP Foundation – Upcoming Critical PHP Security Release
https://www.php.net/archive/2026.php#2026-10-21-5